人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# SUBSCRIPTION CONCERTS

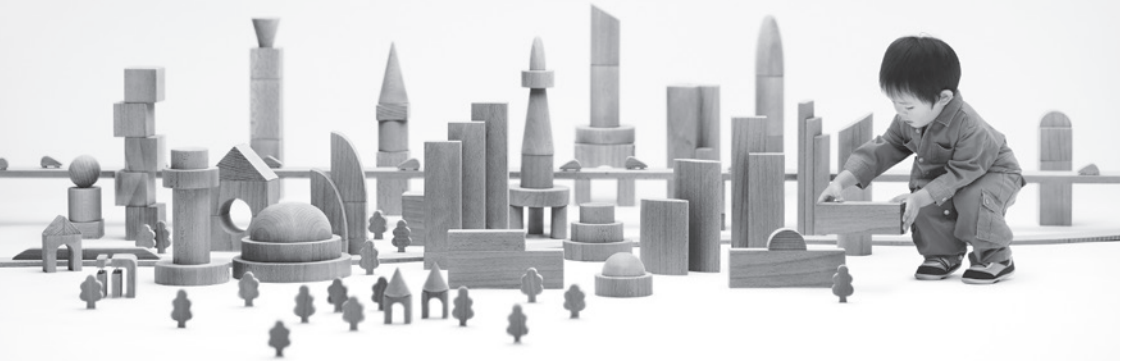
第744回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年10月21日(金)19:00
10月22日(土)14:00

2022
10
OCT

日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

©山口 敦

# CONTENTS
目 次


- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 広瀬 大介 - 7
- 次回 ピエタリ・インキネン公演 10
- 写真プレイバック- 2022年8月9月 - 11
- 特集 あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 12
- 第九特別演奏会2022 13
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 17
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 18
- パトロネージュご芳名 22
- 日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名 24
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 25
- 新入団員紹介 26
- 次回東京定期演奏会 28
- インフォメーション 30
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 31

# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 744th SUBSCRIPTION CONCERTS

## 日本フィルハーモニー交響楽団
## 第744回 東京定期演奏会

| サントリーホール Suntory Hall | 2022年10月21日(金)午後7時開演 / 22日(土)午後2時開演 |
|---|---|
| | 7:00p.m. October 21st (Fri.) & 2:00p.m. 22nd (Sat.), 2022 |

主　　催 / **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**　　後援: フィンランド大使館

協　　賛 / **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**　　助成: 文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）独立行政法人 日本芸術文化振興会

衣装提供 / 株式会社カインドウェア

表紙イラスト / 小澤 一雄

### 感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。
- ● 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）等通知アプリの利用をお勧めいたします。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

## 【ベートーヴェン・ツィクルスVol.5】

### ベートーヴェン：交響曲第8番 ヘ長調 op.93　約26分
Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.8 in F-major, op.93

休憩（15分）Intermission

### ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92　約36分
Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.7 in A-major, op.92

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］
Conductor: Pietari INKINEN, Chief Conductor

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

### 演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

**■ 演奏会をお楽しみいただくために**
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

**■ 電源OFF**

**■ 声と拍手にご注意を**

**■ 周囲にご配慮を**

**■ 音にご注意を**

**■ 撮影禁止**

©Kaupo Kikkas

# Conductor 指揮

## ピエタリ・インキネン
［首席指揮者］

Pietari INKINEN, Chief Conductor

世界各地で活躍の場を広げ注目を集めるインキネン。ザールブリュッケン・カイザースラウテルンドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者を務める。日本フィルにおける任期は21年9月より2年間延長し、23年夏まで予定されている。2022年1月より韓国のKBS交響楽団音楽監督に3年間の任期で就任。

2019年1月にプラハ響を率いて3週間の日本公演を行い、4月には日本フィルと共にフィンランド、ドイツ、オーストリア、英国への13年ぶりのヨーロッパツアーを実現。この時、日本とフィンランドの国交100周年を記念し、ヘルシンキとインキネンの故郷コウヴォラも訪れた。

ワーグナーの音楽はインキネンの活動の紛れもない中心であり、2020年夏のバイロイトでヴァレンティン・シュヴァルツ演出の《指環》全曲の新プロダクションを指揮すべく招待されたが、コロナ禍により中止となり、21年は「ワルキューレ」を指揮した（インキネン指揮による《指環》は2023年に延期）。

客員指揮者として、コンセルトヘボウ管、北ドイツ放響、ベルリン・シュターツカペレ、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、ロサンゼルス・フィル、イスラエル・フィル、バイエルン放響、バーミンガム市響、ヘルシンキ・フィル、スウェーデン放響、オスロ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管等と共演。

オペラではフィンランド国立歌劇場、ブリュッセルのモネ劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場に出演。ドレスデン国立歌劇場では、大成功した新プロダクションの《エフゲニー・オネーギン》を数回指揮している。

これまでに、2015年から2020年までプラハ交響楽団の首席指揮者、2008年から2016年までニュージーランド交響楽団の音楽監督を務め、現在は名誉指揮者の称号を持つ。

ヴァイオリニストの一面も持ち、ケルン音楽大学でザハール・ブロンに師事し、ヘルシンキのシベリウス・アカデミーでさらに指揮を学び始めるまでに、ソロ活動で様々な賞を受賞している。現在も、弾き振りや常連の音楽仲間との室内楽演奏を楽しむ。





# プログラム・ノート 解説：広瀬 大介

## ◆ ベートーヴェン：交響曲第8番 ヘ長調 op.93

1809年から13年にかけて、ベートーヴェンの身の上にはさまざまな出来事が起きては通り過ぎていく。フランス軍のウィーン占領、恩師ハイドンの死、テレーゼ・マルファッティやアントーニエ・ブレンターノとの真剣な交際と破局（有名な「不滅の恋人」への手紙が書かれたのもこの時期）などである。この時期はベートーヴェンにとって充実した年月であったに違いない。その作品群には生の喜びを感じさせるような明るい雰囲気の曲が多く、この交響曲第8番もそうした作曲家の高揚した情熱を多分に反映していると思われる。《交響曲第6番》と同様、上機嫌なとき、生の歓びを謳歌しているときのベートーヴェンがヘ長調を選ぶのは、非常に示唆に富んでいる。

《交響曲第8番》は、ベートーヴェン自身が、《第6番》と対照的な「小さいヘ長調交響曲」と呼んでいた。1811年から12年にかけてセットで作られた《第7番》よりも、確かに規模的に小さく、この後に続く《第9番》の常識破りの長さを考えれば、間に挟まれたこの作品に「小」をつけるのはある意味妥当のようにも思える。ホルンはたった2本、そして《第5番》ではじめて交響曲というジャンルに導入され、《第6番》でも用いられたトロンボーンは、《第7番》でも、そしてこの《第8番》でも外されているからである。

しかし、「小」というのは実際の楽曲の規模のことを指すのではなく、むしろくつろいだ雰囲気を多分に有し、室内楽的にオーケストラの各楽器が絡み合う、その音楽の性格に起因するものと考えたほうが、よりしっくり来るように思われる。本作でベートーヴェンは、かつて師と仰いだハイドンが理想とした、諧謔味溢れる交響曲の世界へと先祖返りしたようにすら感じられる。《第7番》の翌年、1814年2月に、ウィーンで初演された。

曲全体にはさまざまな仕掛けが施されている。何の前置きもなく、突然第1主題の全奏で始まる**第1楽章**では、爽快に駆け抜ける風のような旋律が印象的。あちこち寄り道をしながら進んでいく提示部に対し、その風が一転、春の嵐を思わせるように一直線に進んでいく展開部という構成は、ヴァイオリン・ソナタ「春」、あるいは交響曲第6番「田園」といった、ヘ長調による名曲を書いてきた

ベートーヴェンの集大成とも呼べるだろう。いわゆる緩徐楽章は置かれず、**第2楽章**はスケルツァンド、**第3楽章**はメヌエットとされているのも、曲全体の高揚感を形作る上で重要な要素となった。第2楽章をめぐっては、当時開発途中だったクロノメーター（メトロノーム）の音を模倣し、その生みの親であるヨハン・ネポムク・メルツェルとのかかわりで書かれたカノンに基づいているとされ続けたが、現在ではこのカノンが秘書アントン・シンドラーの偽作であると判明している。**第4楽章**で注目すべきはティンパニの独特な扱いだろう。1オクターヴの間隔でチューニングされた二台一対のティンパニというのは、ベートーヴェンではもちろん、おそらくそれ以前の交響曲でも前例がない（この用法の妙は、続く《第九》第2楽章で開花する）。このティンパニがファゴットと掛け合う箇所などは、作曲家の天才的なひらめきとユーモアのセンスを証明して余すところがない。ハ音に解決しようとするところで半音上の嬰ハ音を鳴らして見せたり、終結部（コーダ）をふたつ導入してみたり、この作品には作曲家の尽きることなき実験精神が充ち満ちている。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

## ◆ ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92

《交響曲第5番》《第6番》の初演において、ベートーヴェン渾身の新作はあまり大きな成功を得ることができずに終わる。当時としてはあまりに斬新な音楽の故、と言われるが、もしそうであるならば、同じように斬新きわまりない工夫が様々に施された《交響曲第7番》の初演が大成功を収めた理由は何だったのだろうか。1813年12月、ウィーン大学・フェストザール、ベートーヴェン自身の指揮による初演の後に出た当時の批評によれば、この交響曲は「大きな喝采と異例とも言うべき好評をもって」受け容れられたという。

《第5番》は、4つの音の執拗な反復からはじまり、「暗黒から光明へ」というベートーヴェンの理想とする音楽作りを体現していた（これはベートーヴェン唯一の歌劇《フィデリオ》の世界観とも共通する）。《第6番》ではこの工夫に加え、一転して標題性を採り入れたり、4楽章で作曲されるのが普通であった交響曲の世界に5つめの楽章を持ち込んだりするなど、新しい世界の開拓を試みている。

だが、ベートーヴェンはまさに、そのことによってないがしろにされてしまった「旋律」の美しさをもう一度取り戻そうとする。それでも、細かい音符の反復によって得られる曲全体の統一性は失いたくない。そこで、この作曲家がとったのは、楽章ごとに特徴的なリズムを与えることによって、旋律の美しさを確保しつつ、リズムによって曲全体に統一感を与えるという解決法だった。そしてこの方法こそが、明瞭な「旋律」の欠如によって難しいと考えられてしまった《第5番》《第6番》での失敗を補う新たな工夫となり、結果的に大成功を収めるに至った。イギリスで本作の出版元を探そうとする際には、「イ長調の大交響曲（もっとも優れた我が作品のひとつ）」と呼んでおり、本作に対する自負の念が窺えよう。

いきなり第1主題の提示で始まっていた両曲と異なり、ベートーヴェンは**第1楽章**で、実に長大な序奏部をつけた。リヒャルト・ワーグナーがこの曲に対してつけた「舞踏のアポテオーゼ（権化・神格化）」という言葉がひとり歩きして有名となっているが、同時にこの作品の力強さをあらわすベルリオーズの「農民の踊り」という評は、具体的にはこの楽章の主題部分に対して名付けられたものと言われている。ベートーヴェンはこの曲と続く《第8番》で、いわゆる緩徐楽章をなくしてしまうが、同じリズムを何度も繰り返す葬送行進曲風のリズムに彩られた**第2楽章**が、その代わりをしていると考えるべきだろう。**第3楽章**でも急速なプレストのテンポに乗せて快活なリズムで曲が進むが、この曲の画期的な点はむしろ、第1楽章で用いられたシャープが3つ用いられるイ長調に対し、フラットひとつが用いられるヘ長調が用いられた点にもあるだろう(あるいは同時期に作曲された《第8番》の精神を採り入れたか)。「作曲時、ベートーヴェンは本当に酔っ払っていたのではないか」とまで言われた激しい**第4楽章**。その主題は、この時期ベートーヴェンがイギリスの出版社に依頼されて手がけていたアイルランド民謡の編曲集に収められた作品のひとつ《まじめで分別くさいのはごめん》に由来するという指摘がある。大衆の「受け」と、自らの芸術的水準を、高い次元で融合させた本作が空前絶後の大成功を収めたことで、ベートーヴェンの創作はさらなる円熟期を迎えることになる。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

©山口 敦

## 第749回 東京定期演奏会　サントリーホール

2023年 4月28日(金) 19:00開演 4月29日(土) 14:00開演

ソプラノ:**ヨハンナ・ルサネン**
バリトン:**ヴィッレ・ルサネン**
男声合唱:**ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学**
シベリウス:**《クレルヴォ交響曲》**

| 1回券料金 | S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C ¥5,000　P ¥4,000　Ys(25歳以下) ¥1,500 | 2022年12月20日(火)発売 |
|---|---|---|

## 第387回 横浜定期演奏会　横浜みなとみらいホール

2023年 5月20日(土) 17:00開演　2022年12月20日(火)発売

## 第400回 名曲コンサート　サントリーホール

2023年 5月21日(日) 14:00開演　2023年2月3日(金)発売

ソプラノ:**森谷 真理**
アルト:**池田 香織**
テノール:**宮里 直樹**
バリトン:**大西 宇宙**
合唱:**東京音楽大学**

**【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】**
シベリウス:**交響詩《タピオラ》**
ベートーヴェン:**交響曲第9番《合唱》**

©タクミジュン

©井村 重人

©深谷 義宣auraY2

©Dario Acosta

| 1回券料金 | S ¥9,000　A ¥7,500　B ¥7,000　C ¥6,000　P ¥5,000　Ys(25歳以下) ¥3,500 |
|---|---|



# Playback プレイバック

8月9月の公演を振り返ります

©山口 敦

PHOTO 1　8月12日は楽しいオーケストラin岩手。指揮の永峰大輔さん、お話とうたの江原陽子さん、ピアニストの上原彩子さん、そしてゲストの黒沢尻北小学校合唱部、山田境田虎舞保存会の皆さんと一緒にお届けしたこの公演。オーケストラとピアノが織りなす豊かな音色、子どもたちの真剣な眼差し、そしてみんなの笑顔が輝く夏の"夢舞台"をお楽しみいただきました。

©Tomoko Hidaki

PHOTO 2　8月25日の落合陽一×日本フィル プロジェクトも6回目。今回は《遍在する音楽会》をお届けしました。世界は、音楽に満ちている。

©山口 敦

©山口 敦

PHOTO 3　新シーズンスタートの9月東京定期演奏会。新シーズン開幕は恒例の山田和樹さんと!9/1にソロ・コンサートマスターに就任した田野倉雅秋さんと貴志康一作曲ヴァイオリン協奏曲を。そして後半はウォルトンの交響曲第1番。*
そしてカーチュン・ウォンさんが、ゲネプロを聴きに来てくださいました。山田和樹さんとカーチュン・ウォンさんは今回が初対面。両マエストロと田野倉さんのスリーショットをどうぞ!

PHOTO 4　9月11日は第397回名曲コンサート。ヘンデルの《メサイア》をお届けしました。ソリストの皆さま、日本フィルハーモニー協会合唱団84名の皆さまと心を1つに大曲を歌い上げました!古楽アンサンブル的な編成の日本フィルも新鮮。左から合唱指導:浅井さん、ソプラノ澤江さん、アルト小川さん、大井剛史さん、テノール櫻田さん、バリトン加藤さん。

PHOTO 5　9月22日横浜定期演奏会、24日相模原定期演奏会。台風が接近しておりどうなるだろうと心配しましたが、無事開催。小林研一郎さんと周防亮介さんと共に、前半はチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を、後半はチャイコフスキーの交響曲第6番《悲愴》をお届けしました。

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

# あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

## 友好提携28年「オーケストラの響く街」杉並区での音楽活動

### オーケストラと自治体の、新たな取り組み ～日本フィルと杉並区～

日本フィルは1994年より杉並区と友好提携を結び、室内楽のコンサートやオーケストラのリハーサル公開などさまざまな取り組みを行なっています。長年築いてきたオーケストラと自治体との信頼関係を礎に、新たな取り組みも生まれています。

### Topics1 交響詩「鼓吹（こすい）の桜」～杉並区区制施行90周年記念曲～（2022年7月）

この度杉並区より区制施行90周年を記念した「ふるさと・杉並をイメージした曲」の製作委嘱を受けました。多くの人に愛され、演奏される曲を残したいという思いから、吹奏楽界で活躍する作曲家・福島弘和氏に作曲を依頼。善福寺川の美しい桜の景色や高円寺の阿波おどり、阿佐ヶ谷のジャズストリートといった杉並の魅力を織り込んだ、交響詩「鼓吹の桜」が完成しました。美しく雄大で勇壮なこの曲を通して、杉並と日本フィルの魅力を多くの方に感じていただきたいと思います。

杉並区公式YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/watch?v=aKC_EdSQwww
日本フィルメンバーによる弦楽五重奏版の演奏をお聴きいただけます。

### Topics2 多文化共生型音楽体験ワークショップ～中国・韓国と日本の文化理解～（2021年10月）

杉並区の発案による多文化共生型ワークショップの第2弾（第1弾：2019年ネパール-日本）が行なわれました。今回は中国・韓国からの留学生と日本の高校生が参加。食をはじめとするお互いの文化について紹介し合った後、共通の文化である「箸」を使って「箸の橋」の製作にチャレンジ。コミュニケーションが深まったところで、「お祭り」「行進」「民謡のメロディ」などそれぞれの国の文化についてイメージを膨らませ、音楽で表現しました。

杉並区ではお互いの文化の違いを認識し尊重するという価値観を育み、多文化共生社会の実現を目指しています。社会課題に音楽の力を活用してアプローチする新たな取組みに、日本フィルは今後も挑戦していきます。

©山口 敦

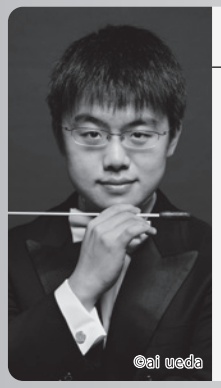
©山口 敦



人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# 日本フィルハーモニー交響楽団

# 2022 第九特別演奏会


©ai ueda

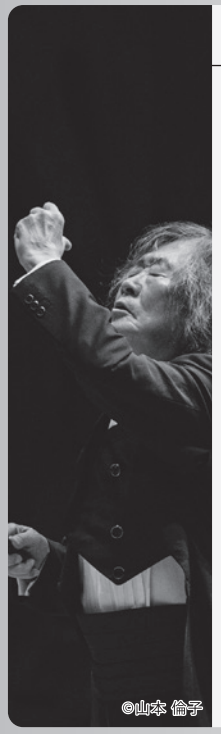
## 指揮：太田 弦

**12/17（土）17:00**
［ 横浜みなとみらいホール ］
【第383回横浜定期演奏会】

**12/18（日）14:00**
［ サントリーホール ］

ベートーヴェン：《エグモント》組曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

ソプラノ：盛田 麻央　アルト：杉山 由紀
テノール：樋口 達哉　バリトン：黒田 祐貴
合唱：東京音楽大学（12/17）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/18）


©山本 倫子

## 指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

**12/22（木）19:00**
［ サントリーホール ］

**12/23（金）19:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

**12/24（土）14:30**
［ 横浜みなとみらいホール ］

**12/25（日）14:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

**12/27（火）19:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

J.S.バッハ（M.デュリュフレ編）：
カンタータ22番より第5曲
「慈しみもて我らを死なせ」
J.S.バッハ：
パストラーレ BWV590より II.アルマンド
J.S.バッハ：
トッカータとフーガ ニ短調BWV565
（以上3曲オルガン独奏）
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

オルガン：石丸 由佳
ソプラノ：小川 栞奈（12/22～24）／市原 愛（12/25、27）
アルト：山下 牧子
テノール：錦織 健（12/22～24）／笛田 博昭（12/25、27）
バリトン：大沼 徹（12/22、23）／青戸 知（12/24）
青山 貴（12/25、27）
合唱：東京音楽大学（12/22、23）
武蔵野合唱団（12/24）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/25、27）

| 料金 | S ¥9,000　A ¥7,500　B ¥7,000　C ¥6,000<br>Ys（25歳以下）¥3,500　Gs（65歳以上）¥6,000（12/17除く、12/24、12/25完売） | 好評発売中 |
|---|---|---|

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日11時-17時）FAX：03-5378-6161（24時間）
日本フィルeチケット♪　www.japanphil.or.jp

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る
杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル


〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

**■お振込みでのご寄付**

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

**■オンライン寄付**

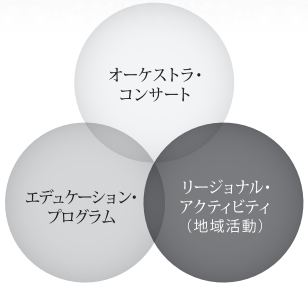
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

# 感動の共有
# 日本フィルハーモニー交響楽団

## 文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。




今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

特別会員　京王重機整備株式会社 代表取締役社長　寺田 雄一郎

パトロネージュ　安藤 光一　東京都 ／ 桐本 明子　東京都 ／ 齋藤 共子　神奈川県

### 存続の危機にある日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

### パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載や様々な特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
**年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円**

### 日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
**年会費：1万円**

### 特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

### 遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

**お問い合わせ：日本フィル事務所 TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）**

# 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越　真樹
株式会社アイレ　代表取締役社長 荒江　健
アイング株式会社　代表取締役会長 飯嶋　庸夫
赤坂維新號　代表取締役社長 鄭　東静
あすか製薬株式会社　代表取締役社長 山口　惣大
株式会社アトックス　代表取締役 矢口　敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田　昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋　一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会　代表取締役社長 八方　淑夫
株式会社泉放送制作　代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社　代表取締役社長 磯野　計一
稲畑産業株式会社　相談役 稲畑　勝雄
株式会社インフォマート　代表取締役社長 中島　健
株式会社内田洋行　代表取締役社長 大久保　昇
内野株式会社　代表取締役社長 内野　信行
宇部エクシモ株式会社　代表取締役社長 古賀　源二
株式会社ＡＩＴ　代表取締役社長 大熊　克美
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤　茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋　常夫
NGB株式会社　代表取締役社長 宮﨑　潔
エヌビーエス株式会社　代表取締役会長 飯嶋　一晃
株式会社エルイーテック　代表取締役社長 坂田　洋一
エレコム株式会社　代表取締役会長 葉田　順治
大隅ミート産業株式会社　代表取締役社長 小森　浩一
株式会社大場造園　代表取締役社長 大場　二郎
株式会社岡三証券グループ　取締役会長 加藤　哲夫

小川香料株式会社　代表取締役社長 小川　裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内　義彦
株式会社カカクコム　代表取締役社長 畑　彰之介
鹿島建設株式会社　代表取締役会長 押味　至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本　和雄
鹿島道路株式会社　代表取締役社長 吉田　英信
株式会社カナック企画　代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ　代表取締役 蒲生　茂
社会医療法人河北医療財団　理事長 河北　博文
川北電気工業株式会社　取締役社長 大津　正己
北野建設株式会社　代表取締役会長兼社長 北野　貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 長南　収
株式会社協和日成　代表取締役社長 川野　茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎　功典
株式会社きんでん　取締役社長 上坂　隆勇
株式会社九曜社　代表取締役社長 望月　耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木　彰
グローブシップ株式会社　代表取締役社長 矢口　敏和
京王重機整備株式会社　代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス　取締役社長 浅野　義行
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村　智史
京浜急行電鉄株式会社　取締役社長 川俣　幸宏
株式会社小泉　代表取締役社長 長坂　剛

株式会社興建社　代表取締役社長 水島　隆明
コーザイ株式会社　代表取締役 貝沼　信和
株式会社講談社　代表取締役社長 野間　省伸
株式会社コバヤシ　代表取締役 小林　達夫
コンパッソ税理士法人　代表社員 内川　清雄
株式会社コトブキ　代表取締役社長 深澤　幸郎
株式会社コンサートサービス　代表取締役 佐藤　修悦
佐藤製薬株式会社　代表取締役社長 佐藤　誠一
三機工業株式会社　特別顧問 梶浦　卓一
山九株式会社　代表取締役社長 中村　公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪　剛史
三洋貿易株式会社　代表取締役社長 新谷　正伸
ジーエルサイエンス株式会社　取締役社長 長見　善博
ジェネロ株式会社　代表取締役 竹内　大志
株式会社慈恵実業　代表取締役社長 石塚　雄三
澁谷工業株式会社　取締役社長 澁谷　英利
株式会社じほう　代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社　代表取締役社長 井上　和幸
株式会社集英社　代表取締役社長 廣野　眞一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉　一夫
昭和電工株式会社　代表取締役会長 森川　宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本　達也
新菱冷熱工業株式会社　代表取締役社長 加賀美　猛
株式会社ジャックス　代表取締役社長 村上　亮
株式会社ジンテック　代表取締役 柳　秀樹
株式会社杉江商店　代表取締役 杉江　寛
杉山商事株式会社　取締役社長 杉山　健
住友ベークライト株式会社　代表取締役社長 藤原　一彦
株式会社スプリックス　代表取締役社長 常石　博之

全国保証株式会社　代表取締役社長 石川　英治
第一倉庫株式会社　会長 小泉　駿一
株式会社泰秀　代表取締役社長 野口　通子
大正製薬株式会社　取締役会長 上原　明
大同生命保険株式会社　代表取締役社長 北原　睦朗
大日本除虫菊株式会社　代表取締役社長 上山　直英
大日本塗料株式会社　代表取締役社長 里　隆幸
大和製罐株式会社　代表取締役社長 山口　裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島　和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡　寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長 兼 社長 榊田　雅和
株式会社千代田テクノル　代表取締役会長 細田　敏和
塚本總業株式会社　代表取締役社長 塚本　素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表取締役社長 松添みつこ
DM三井製糖株式会社
株式会社ティーガイア　代表取締役社長 石田　將人
学校法人帝京大学　理事長 冲永　佳史
THK株式会社　代表取締役社長 寺町　彰博
ＴＩＳ株式会社　代表取締役社長 岡本　安史
株式会社電通　代表取締役 社長執行役員 榑谷　典洋
東亜建設工業株式会社　代表取締役社長 早川　毅
株式会社東急コミュニティー　取締役社長 木村　昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬　伸一
株式会社東京交通会館　代表取締役社長 興野　敦郎
東京都杉並区　区長 岸本　聡子
東京美装興業株式会社　代表取締役社長 八木　秀記
東洋熱工業株式会社　代表取締役社長 谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長 今井　雅則

トヨタ自動車株式会社　代表取締役社長　豊田　章男
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社　代表取締役会長 兼 CEO　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO　奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡　俊夫
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団　理事長　藤本由紀子
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
三井情報株式会社　代表取締役社長執行役員　浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　水野　憲一
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
取締役　神田　晴夫
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
取締役相談役　田中　晃
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
株式会社リガク　取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦

株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社LABCO　代表取締役　高津　昌広
株式会社LEOC　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2022年10月1日現在・50音順・敬称略）

# パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
稲葉　治樹　茨城県
稲葉　好正　東京都
犬塚　静衞　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大熊美結紀　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県

大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多乶久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都

児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
齋藤　共子　神奈川県
酒井　和夫　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　敏生　神奈川県
島田　晴雄　東京都
清水　久子　東京都
清水　幸雄　千葉県
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
髙須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
髙橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都

田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
坪井　和音　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都

羽田　洋子　神奈川県
濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
針谷　博史　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
本田　博　熊本県
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
八代　元行　東京都

柳田　淑　神奈川県
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
F.H.
M.K.

匿名64名

（2022年9月25日現在
50音順・敬称略）

# 日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名

青木　孝
青木　隆
赤星　弥生
荒井　隆志
有田　正治
石田　尚身
石田　英雄
伊藤　正明
岩崎　貞明
海野　尚久
大塚　宏二
岡登　弘志
小田倉　正
柏崎　和枝
加藤　明
金本　順子
神谷　薫
萱場　基
岸田　正博
北宮千恵子
木村　繁
倉田　茂
蔵貫　義朗
小島　鈴枝
斎木　典子
坂本　博志
相良　幸男
佐々木忠義
佐藤　雅道
佐藤　安雄
澤口佳乃子
清水　浩憲
下山　泰彦
菅原　章文
鈴木　重澄
鈴木　重行
鈴木　富美
住江　慶子
隅田　真
高田　昌樹
高津　正徳
武井　新
武田　幸子
多田　栄一
田中　諄
坪井　憲治
東保裕の介
富澤　裕
富田　節子
永井　福枝
長沢　光子
永田　康
中山　泰子
野田　孝
野中　和行
羽生　賢次
早川征一郎
深沢　茂実
藤井　行雄
藤川　寿彦
藤村　文二
古川　武志
古瀬　明弘
本堂　毅
前島　景子
増田　文彦
松井　務
皆川　文弘
三好　敦生
民放労連関東地方連合会
山縣　博
山下　芳広
渡辺　勝次
渡辺　政則

（2022年9月1日現在
五十音順・敬称略）



## Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

**まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月23日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:ピエタリ・インキネン | ［10月22日まで販売］ |
| シベリウス:《エン・サガ》、ベートーヴェン:交響曲第2番、第4番 | | | |
| 5月14日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:カーチュン・ウォン ヴァイオリン:南 紫音 | |
| シベリウス:ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルジャーク:交響曲第7番 他 | | | |
| 5月28日 | 東京定期演奏会 | 指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:務川 慧悟 | |
| 伊福部昭:リトミカ・オスティナータ、マーラー:交響曲第4番（ソプラノ:三宅 理恵） | | | |
| 6月18日 | 東京定期演奏会 | 指揮:秋山 和慶 ピアノ:小川 典子 | |
| ラヴェル:ピアノ協奏曲、《ダフニスとクロエ》第2組曲 | | | |
| 7月1日 | さいたま定期演奏会 | 指揮:鈴木 優人 ピアノ:小林 愛実 | |
| ショパン:ピアノ協奏曲 他 | | | |
| 7月2日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:広上 淳一 ピアノ:福間 洸太朗 | |
| ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番、《田園》 | | | |
| 7月9日 | 東京定期演奏会 | 指揮:広上 淳一 ヴァイオリン:米元 響子 | |
| ブルッフ:スコットランド幻想曲　ブルックナー:交響曲第7番 | | | |
| 9月3日 | 東京定期演奏会 | 指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:田野倉 雅秋 | |
| 貴志康一:ヴァイオリン協奏曲　ウォルトン:交響曲第1番 | | | |
| 9月16日 | さいたま定期演奏会 | 指揮:小林 研一郎 ピアノ:河村 尚子 | |
| ブラームス:ピアノ協奏曲　チャイコフスキー:交響曲第4番 | | | |
| 10月2日 | 芸劇シリーズ | 指揮:藤岡 幸夫 ピアノ:上原 彩子 | ［販売期間3ヵ月］ |
| ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番　ベートーヴェン:交響曲第7番 | | | |
| 10月22日 | 東京定期演奏会 | 指揮:ピエタリ・インキネン | |
| ベートーヴェン:交響曲第8番、第7番 | | | |

## ◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に11の質問！

ヴァイオリン

# 谷﨑 大起 TANIZAKI Hiroki

ヴァイオリン・セクションに新たに入団いたしました谷﨑大起をご紹介いたします。

| | |
|---|---|
| 1 誕生日 | 12月31日 |
| 2 私はこんな人 | とっても真面目です！ |
| 3 楽器を始めたきっかけ | バンドのサポートで参加していたヴァイオリニストをみて、かっこいいなぁと思ったから |
| 4 音楽家になっていなかったら？ | 小説家かプロレスラーになりたかったです |
| 5 時間があったら何をしたい？ | 地元の北海道で温泉巡り |
| 6 リラックス方法は？ | 散歩 |
| 7 好きな映画を教えてください | ブルース・ブラザーズ |
| 8 座右の銘があれば | 人生無駄なし |
| 9 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で | よっしゃぁ!! |
| 10 ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う | 伝統と革新が入り混じる、熱いオーケストラ |

11 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

いつも演奏会に足を運んでいただき、ありがとうございます。
日本フィルの一員として演奏できること、とても嬉しく思っております。
今後とも応援よろしくお願いいたします。



## ◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に11の質問！

ホルン

# 伊藤 舜 ITO Shun

ホルン・セクションに新たに入団いたしました伊藤舜をご紹介いたします。

| | |
|---|---|
| 1 誕生日 | 9月10日 |
| 2 私はこんな人 | マイペース |
| 3 楽器を始めたきっかけ | 中学の部活の吹奏楽 |
| 4 音楽家になっていなかったら？ | 映画関係がやってみたい |
| 5 時間があったら何をしたい？ | ツーリング　キャンプ |
| 6 リラックス方法は？ | 温泉　サウナ |
| 7 好きな映画を教えてください | ALWAYS 三丁目の夕日 |
| 8 座右の銘があれば | 継続は力なり |
| 9 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で | 本当ですか？ |
| 10 ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う | パワフルでありすごく繊細 |

11 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

聴きに来てくださったお客様に楽しんで満足して頂ける演奏を出来るよう精進していきたいと思っております！
今後とも日本フィルの応援よろしくお願いいたします。

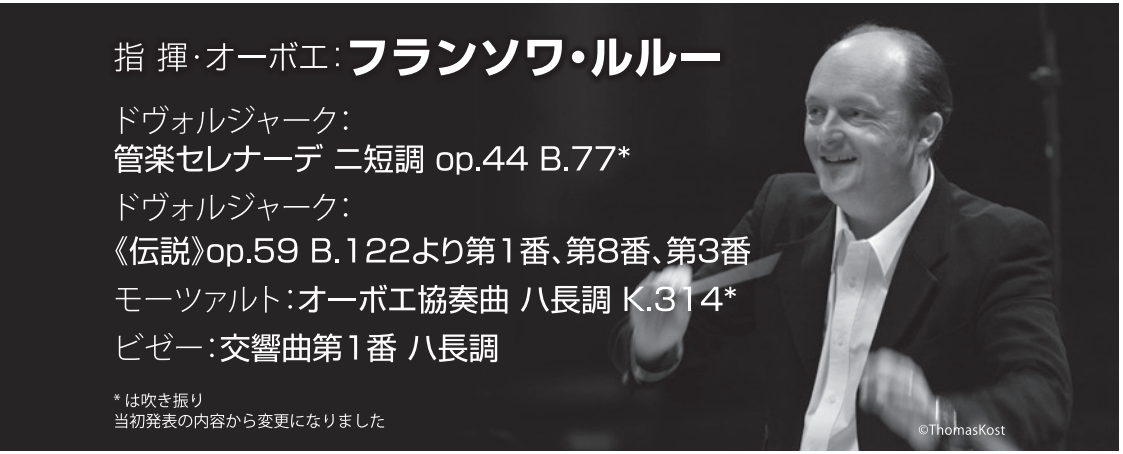
NEXT CONCERTS
>> 次回東京定期演奏会

# 第745回

サントリーホール

2022年11月18日(金)19:00開演
19日(土)14:00開演 プレトーク 13:20〜

## 世界的オーボエ奏者であり指揮者でもあるフランソワ・ルルーとともに追究する、理想のアンサンブル




指 揮・オーボエ：**フランソワ・ルルー**

ドヴォルジャーク：
管楽セレナーデ ニ短調 op.44 B.77*
ドヴォルジャーク：
《伝説》op.59 B.122より第1番、第8番、第3番
モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314*
ビゼー：交響曲第1番 ハ長調

* は吹き振り
当初発表の内容から変更になりました

| 1回券料金 | S ¥8,000 | A ¥6,500 | B ¥6,000 | C 完売 | P ¥4,000 | Ys（25歳以下）¥1,500 |
|---|---|---|---|---|---|---|

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

## 次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー！

聞き手　八木 宏之

**—今回のプログラムにはドヴォルジャーク、モーツァルト、ビゼーの作品が並んでいますが、選曲のコンセプトを教えてください。**

まず、フランスの音楽家として、日本フィルと初めて共演するにあたり、フランスの作曲家の優れた作品を演奏したいと思いました。ビゼーの交響曲はフランス音楽の傑作であり、こうした作品を日本のオーケストラ、聴衆と分かち合うことは私にとって重要なことなのです。

ドヴォルジャークの《伝説》は演奏機会こそ少ないですが、本当に美しい作品ですので、同様に隠れた傑作であるドヴォルジャークの管楽セレナーデとともに今回のプログラムに選びました。

モーツァルトのオーボエ協奏曲は皆が私に求める作品です。わたしはそうしたリクエストに喜んでお応えします。

**—ドヴォルジャークの管楽セレナーデでは、オーボエ奏者としてアンサンブルに参加され、吹き振りを披露されます。**

室内楽を共に演奏して、私がこれまで培ってきた経験やアイデアをオーケストラのメンバーと共有したり、解釈について互いの意見を交換したりすることは、初共演で相手のことを知るうえでとても有益です。

ドヴォルジャークの管楽セレナーデはモーツァルトの《グラン・パルティータ》と似通ったところが多く、ドヴォルジャークは間違いなくモーツァルトからインスピレーションを得ています。この作品は木管楽器のための室内楽の傑作のひとつであり、日本フィルの皆さんと一緒に演奏できるのがとても楽しみです。

**—《伝説》はルルーさんからの提案だったと伺いました。**

ドヴォルジャークが4手ピアノのために作曲し、その後オーケストレーションを施した《伝説》は滅多に演奏されませんが、本当に美しい作品です。トロンボーンやテューバを含まない今回のプログラムに適した編成だったこともあり、この機会にぜひ日本のお客さんにご紹介したいと思って選びました。今回は全10曲のうち1番、3番、8番を演奏します。

**—ルルーさんはこれまでモーツァルトのオーボエ協奏曲を数えきれないほど演奏されてきたかと思いますが、ルルーさんにとってこの協奏曲はどんな作品なのでしょう？**

モーツァルトの協奏曲を演奏するためには、万全のコンディションや、明快でバランスの取れた完璧なテクニックが必要であり、モーツァルトが求めるパーフェクトの先にある「自由」を見つけることこそが、この作品を演奏する何よりの喜びなのです。

妻（ヴァイオリニストのリサ・バティアシュヴィリ）には、どうしてそんなにモーツァルトばかり演奏できるのかとよく聞かれます（笑）ヴァイオリンにはベートーヴェン、ブラームス、シマノフスキ、ショスタコーヴィチなどたくさんの協奏曲がありますからね。しかしモーツァルトの協奏曲には、演奏する度に新しい発見がありますし、今回も日本フィルとそうした体験ができるはずです。

**—ビゼーの交響曲は、2019年にスコットランド室内管と録音もしているルルーさん得意のレパートリーですね。**

ビゼーはこの交響曲を17歳のときに作曲しました。当時ビゼーはグノーに作曲を師事していたので、この交響曲にはグノーの交響曲の影響が強く感じられます。そしてグノーの交響曲よりもよく書けています（笑）まさに天才です。しかしビゼーはグノーのスタイルを模倣したことをあまり誇らしく思っていなかったので、この交響曲は長い間忘れ去られてしまいました。第2楽章の美しさは特筆すべきもので、極めてフランス的な抒情性を持っています。のちのフォーレやプーランクを思わせる音楽ですが、その起源はビゼーにあるのです。

**—日本フィルとは今回が初共演となりますが、日本のオーケストラにはどんな印象をお持ちですか？**

日本のオーケストラは完璧な準備をしてリハーサルに臨む、真のプロフェッショナルです。私が初めて日本に来たのは1991年、もう30年以上も前のことですが、日本人の時間の正確さや真面目さに驚いたことをよく覚えています。日本とヨーロッパでは言葉の違いもあって、リハーサルでのコミュニケーションの取り方が異なりますが、日本の音楽家は30年前よりもはるかにオープンになっています。

そして日本のホールと聴衆も素晴らしい。今回私たちはサントリーホールで演奏しますが、ここは世界屈指のホールです。才能あふれるプロフェッショナルな音楽家たちと、美しいホールで、熱心なお客さんを前に演奏できることを心より楽しみにしています。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

## ■ 11月第745回東京定期演奏会プログラム内容変更のお知らせ

9月2日に発表いたしました通り、11月に来日を予定しておりました桂冠指揮者兼芸術顧問のアレクサンドル・ラザレフ氏については、ロシアとウクライナで起きている諸情勢と、家族とともにモスクワに居を構える同氏の状況をも考慮し、楽団と同氏の双方で協議を重ねた結果、今回の来日も残念ながら断念することとなりました。

以下の通り変更して開催いたします。

何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

指揮・オーボエ：フランソワ・ルルー
ドヴォルジャーク：管楽セレナーデ op.44 B.77*
ドヴォルジャーク：《伝説》op.59 B.122より第1曲、第8曲、第3曲
モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314*
ビゼー：交響曲第1番 ハ長調
（*吹き振り）

## ■ 好評発売中

**コバケン・ワールドVol.32**

**2022年11月3日（木・祝）14：00開演**
**サントリーホール**

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
チェロ：宮田大

ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲
ドヴォルジャーク：交響曲第8番

**第240回芸劇シリーズ**

**2022年11月5日（土）14：00開演**
**東京芸術劇場**

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

ドヴォルジャーク：交響曲第8番
ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

**第九特別演奏会2022**

詳細はP13をご覧ください。

## ■ 本日の公演はカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のままで撮影をお願いいたします。

フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

## ■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22：54～23：00（第3週、第4週は再放送）。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン＆山田和樹。ぜひご覧ください!

## ❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は広瀬大介氏の登場です。
**土曜日13：20～**

**定期会員券ご寄付のお願い**

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

9月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）匿名7名

**ご寄付の方法** ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日11 時～17 時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

| | | | |
|---|---|---|---|
| 創立指揮者 | 渡邉 曉雄 | 首席指揮者 | ピエタリ・インキネン |
| 桂冠名誉指揮者 | 小林 研一郎 | 桂冠指揮者 兼 芸術顧問 | アレクサンドル・ラザレフ |
| 名誉指揮者 | ルカーチ・エルヴィン | フレンド・オブ・JPO（芸術顧問） | 広上 淳一 |
| 名誉指揮者 | ジェームズ・ロッホラン | 首席客演指揮者 | カーチュン・ウォン |
| 客員首席指揮者 | ネーメ・ヤルヴィ | | |

ソロ・コンサートマスター：扇谷 泰朋
ソロ・コンサートマスター：木野 雅之
ソロ・コンサートマスター：田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター：千葉 清加
第1ヴァイオリン：伊藤 太郎□　太田 麻衣　九鬼 明子　齋藤 政和　榊 渚　竹歳 夏鈴　谷﨑 大起　田村 昭博　中谷 郁子　西村 優子　平井 幸子　本田 純一
第2ヴァイオリン：遠藤 直子　大貫 聖子　岡田 紗弓　加藤 祐一　神尾あずさ○　川口 貴　佐藤駿一郎　末廣 紗弓　豊田 早織　町田 匡　山田 千秋
ヴィオラ：安達 真理☆　小俣 由佳　小中澤基道　児仁井かおり　高橋 智史　中川裕美子　中溝とも子　松澤 稚奈
ソロ・チェロ：菊地 知也
チェロ：石崎 美雨　伊堂寺 聡　江原 望　大澤 哲弥　久保 公人　山田 智樹　横山 桂
コントラバス：鈴村 優介　髙山 智仁◎　成澤 美紀　宮坂 典幸○　山口 雅之
フルート：齋藤 光晴　難波 薫　真鍋 恵子◎
オーボエ：佐竹 真登　杉原由希子◎　松岡 裕雅○
クラリネット：伊藤 寛隆◎　楠木 慶○　照沼 夢輝　堂面 宏起
ファゴット：大内 秀介　鈴木 一志◎　田吉佑久子○　中川日出鷹
ホルン：伊藤 舜　宇田 紀夫　信末 碩才◎　原川翔太郎　丸山 勉☆　村中 美菜
ソロ・トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット：大西 敏幸　中里 州宏　中務 朋子　星野 究
トロンボーン：伊藤 雄太　伊波 睦　岸良 開城○
バス・トロンボーン：中根 幹太
テューバ：柳生 和大
ティンパニ：エリック・パケラ◎
パーカッション：大河原 渉
ハープ：松井 久子

楽団長：中根 幹太
チーフステージマネージャー：阿部 紋子
ステージスタッフ：長橋 健太　森田 大翔
チーフインスペクター：佐藤駿一郎
インスペクター：宇田 紀夫　鈴村 優介
ライブラリアン：鬼頭さやか　杉本 哲也

◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

理事長（代表理事）：平井 俊邦
副理事長（代表理事）：五味 康昌
常務理事（代表理事）：後藤 朋俊
常務理事（代表理事）：中根 幹太
常務理事（代表理事）：福井 英次
理事：石井啓一郎／遠藤 滋／佐々木経世／田村 浩章／戸所 邦弘／福本ともみ
監事：上條 貞夫
評議員会会長：加藤 丈夫
評議員：青井 浩／安孫子 正／荒蒔康一郎／石塚 邦雄／石村 等／稲垣 尚／内川 清雄／大塚 宣夫／海堀 周造／梶浦 卓一／河北 博文／喜多 崇介／木村 惠司／久保田 隆／小林研一郎／島田 精一／津田 義久／西澤 豊／野間 省伸／葉田 順治／村上典吏子／山口多賀幸
名誉顧問：熊谷 直彦
名誉顧問：島田 晴雄
名誉顧問：田邊 稔
アドバイザリー・ボード：大島 剛／小野 敏夫／小網 忠明／後藤 茂／武田 隆男／田邊 稔／溝口 文雄
コミュニケーション・ディレクター：マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ：淺見 浩司／磯部 一史／江原 陽子／及川ひろか／小川紗智子／荻島 里帆／賀澤 美和／柏熊由紀子／小須田 萌／佐々木文雄／澤田 智夫／篠崎めぐみ／清水佑香子／杉山 綾子／杉山まどか／高橋 勇人／田中 正彦／槌谷 祐子／中村沙緒里／西田 大輔／長谷川珠子／馬場 桃子／藤田 千明／別府 一樹／益滿 行裕／宗澤 晶子／山岸 淳子／吉岡 浩子

団友：
青柳 哲夫／青山 均／赤堀 泰江／浅井 俊雄／新井 豊治／石井啓一郎／伊藤 恒男／遠藤 功／遠藤 剛史／大石 修／大川内 弘／大味 修／筧 美知子／金本 順子／蒲谷 隆行／川口 和宏／菊田 秋一／吉川 利幸／木村 正伸／小林 俊夫／小山 清／斎藤 千種／佐々木裕司／佐藤 玲子／菅原 光／髙木 裕子／髙木 雄司／高木 洋／高倉 理実／田沢 烈／立川 和男／堂阪 俊子／富樫 尚代／豊田 尚生／中川 二朗／永田 健一／中務 幸彦／奈切 敏郎／橋本 洋／畑井紀代子／平賀 法子／福島 喜裕／松本 克巳／松本 伸二／三谷 昭平／三本 克郎／宮武 良平／三好 明子／森 茂／山下 進三／山科 淑子／山本 辰夫／渡辺 哲雄

（2022年10月1日現在）

**チケットお申込・お問い合せ**

[ 日本フィル・サービスセンター ]

TEL.03-5378-5911(通常：平日10時～17時／現在：平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

FAX.03-5378-6161(24時間)

E-MAIL：order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311

japanphil.or.jp

公式Twitter @Japanphil

公式アカウント

BS朝日 「Welcome クラシック」指揮者が語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.744

第744回東京定期演奏会